



長後まちだより

まちの輪・ひとの和・みどりの環

長後まちだより18号

発行日/2020年2月10日

発行/長後地区

郷土づくり推進会議

責任者/市川 勤

事務局/長後市民センター

電話/0466-44-1622

FAX/0466-46-7034

長後地区全体集会を開催しました!!

「語ろう、長後の未来を!」をテーマに、令和元年12月14日(土)に、長後市民センターで「令和元年度長後地区全体集会」を開催いたしました。当日は地域の皆様を中心に総勢109名の参加者で、活発な意見交換が行われました。*紙面の都合上、質疑応答については一部抜粋とさせていただきます。



期に掲載した「イベントカレンダー」を広報10月10日号に合わせて全戸配布した。

◎交通手段支援部会

- 平成29年度から平成30年度にかけて、アンケート調査を実施した。主に綾瀬市や大和市に隣接する自治会を中心に、移動に不便を感じているとの結果から、コミュニティバスの導入を要望する声が寄せられた。
- 令和元年度は、8月にコミュニティバス導入についての提言書を鈴木市長へ提出し、9月には「郷土づくり推進会議と市が連携し、地域の皆様と協働で進めていきたい。(一部省略)」と回答をいただいた。
- 現在、市の関係課と調整をしており、今後バスルートや車両などの具体的な検討に入っていく。

意見・要望

- 高齢者にも優しい街づくりをしてほしい。
- 地域活性化のためにも、歴史資料館の開設について検討を続けてほしい。

◎その他7事業

- 長後こども安全ネットワーク事業 ●安全・安心ステーション運営事業 ●健康づくり普及事業 ●ちようご見守りネットワーク事業 ●地産地消推進事業 ●長後すくすく応援事業 ●花いっぱい運動推進事業

第一部 長後地域活性化事業について

(10事業中3部会を抜粋)

◎地域人材発掘・育成部会

- 平成30年度はボランティア団体を募集し、その活動に賛同する方を一堂に会するイベントとして「ボランティアまつり」を計画し、事前準備として平成31年2月23日(土)に「交流会」を実施した。
- 令和元年度は8月25日(日)にボランティア活動に参加を呼び掛けることを目的として「ボランティアまつり」を実施した。
- 令和2年度以降の活動は、ボランティア団体と地域の方をつなげるイベントを継続していく予定。

◎観光・歴史資源開拓部会

- 平成29年度から地区内の名所・旧跡に解説版の設置を進めている。令和元年度は、「せき神様」をはじめ5か所を設置する。現在までに9か所の設置が完了している。
- ふるさと観光マップ「長後めぐり」の改訂版を5月に発行した。長後市民センターで配布中。
- 長後地区のイベントの他に野菜、果樹などの収穫時

～ ご案内 ～

全体集会の議事録は2月12日(水)より平日8時30分～17時に長後市民センター地域担当窓口で閲覧できます。また、郷土づくり推進会議のホームページ(表面右上QRコード)からも議事録の閲覧が可能です。
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/chougo-c/shise/gaiyo/chosha/shisho/chogo/suisinkaigi.html>

第二部 藤沢市及び県からの取組状況報告

(1) 高倉下長後線の取組状況について

(都市整備課 長後地区整備事務所)



- 藤沢湘南台病院付近を起点に長後小学校の北側を通り消防署長後出張所までを整備するもの。
- 4つの区間に分けて、西側から整備を進めていきたいと考えている。完成するまでの期間として、1件1件の用地取得に加え、トンネル構造工事等を勘案すると、着手から20年程度要するものと考えている。

Q 何年も同じ説明を続けているように感じる。いつ頃着手するのか。

A 地域から出てきた意見を踏まえて関係機関協議を行っているが、時間がかかっている。都市計画の見直し手続きの進み具合にもよるが、順調に進めば令和4年度に農地側の測量を開始する予定。

(2) 長後725号線の歩道整備の取組状況について

(都市整備課 長後地区整備事務所)

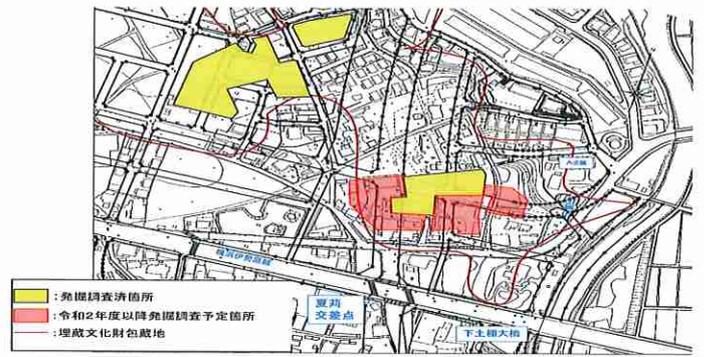


- 長後駅から市民センター方面に抜けるバス通りの北側に歩道を整備するもの。
- 優先整備区間の取組状況は、用地測量を平成30年度に終了。11月末時点では、支障物件調査が60%、用地取得交渉が50%といった進捗率である。
- 用地取得ができた箇所については、順番に令和2年度から工事に着手し、優先整備区間の工事を令和5年度に完了することを目標としている。

(3) 石川下土棚線の取組状況について

(北部区画整理事務所)

- 石川下土棚線は県道藤沢厚木線の南鍛冶山交差点から新境橋までの区間約4キロのうち、夏刈交差点以北の残り240メートルについて、埋蔵文化財が確認され、令和2年度以降の本格的な発掘調査を実施する。
- 発掘調査完了後、整備計画どおりに事業を進める。
- 発掘調査の結果によっては、スケジュールの見直しもする。



(4) 蓼中橋架替事業の取組状況について

(道路維持課)

- 蓼川の河川改修事業にあわせて、蓼中橋を架け替えるもの。架け替え後は蓼中橋(車道)と蓼中人道橋(歩道)が1橋に集約される。
- 現在、左岸護岸と上部架設の工事を行っており、令和3年4月開通予定。

(5) 下土棚遊水地工事の取組状況について

(県藤沢土木事務所河川砂防第一課)



- 引地川の湘南台地区～長後地区の治水工事。
- 平成30年8月にA池の供用を開始し、B・C・D池については、令和2年度供用開始予定。

Q A池完成と上部施設の利用開始はいつ頃なのか。

A 平成30年度に暫定供用としている状態。遊水地全域は令和2年度に完成を目指している。上部施設については、具体的な進め方を今後県と市で連携し検討する。

第一部及び第二部の質疑応答については、郷土づくり推進会議のホームページをご覧ください。その他にも、当日発言できなかった方からメッセージカードにて、道路計画やまちづくり事業について貴重なご意見やご要望が寄せられました。

編集後記

- 2019年も災害の多い年だったが、ラグビーW杯日本代表の活躍は感動と勇気を与えてくれた。ラグビーの精神である「ノーサイド」、「one for all, all for one」と「ワンチーム」という合言葉から、組織や人材育成に通じるラグビー文化が浸透する事を期待し、今年も良い年に成る事を願っている。(井上哲夫)
- 今年の夏、東京オリンピックが開催、江の島ではセーリング競技が行われます。“おもてなし”の心をもって盛り上げたいものですね。(新倉綾子)